



■利根商高生、社会人と語り合う 利根商業高(浜野雅樹校長)は、1年生154人を対象にキャリア教育セミナーを開いた。生徒はさまざまな分野の社会人20人と語り合い、現場の生の声を聞いた＝写真。

製造業や販売、金融、医療、ホテル、公務員などから関心のある3業種を選び、経験談を聞いたり仕事内容を質問して、やりがいや厳しさを学んだ。

保育士の仕事について聞いた矢嶋梨乃さんは「『正しい言葉』を使わないと子どもに影響が出てしまうと聞き、小さな心掛けの大切さを知った」と感想を述べた。

### 交通安全活動 協力で感謝状

沼田署が  
利根商高に

交通安全活動に協力したとして、沼田署(新井勘一署長)は22日、利根商業高(浜野雅樹校長)に感謝状を贈った。新井淳交通課長がみなかみ町月夜野の同

校を訪れ、生徒代表に賞状を手渡した。

同校地域経済科の3年生16人は課題研究の一環で、今年導入したレーザー加工機を使って「交通安全」の文字を入れた木札のストラップを100個製作した。今月、同町のスーパードで署員らと共に放射材などと合わせて買い物客に配り、交通安全を呼び掛けた。

生徒を代表して中島駿君、大木日向君、石田将直君の3人が賞状を受け取った。3人は「啓発活動は緊張した。木札を手にした人が運転に気を付けてもらえたうれしい」と話した。



感謝状を受け取る(右から)中島君、大木君、石田君